



# WITH通信

夏号  
No.6

「WITH」とは「Welfare Innovation Try Home」の頭文字であり「一緒にあって、共に福祉の革新につとめつづける拠点」という思いを込めています。

●WITHグループ●

介護付有料老人ホーム

- ・生活倶楽部 ウィズ長丘
- ・生活倶楽部 ウィズ南片江

訪問介護事業所

- ・訪問介護ウィズステーション

グループホーム

- ・ウィズライフ 西 新
- ・ウィズライフ 住 吉
- ・ウィズライフ 伊 丹

福祉用具レンタル・販売

- ・ウィズスマイルプラザ

居宅介護支援事業所

- ・ウィズケアプランサービス
- 福祉・介護スタッフ育成
- ・ウィズインターンスクール

介護事業提携

- ・ウィズアライアンス

■西日本介護サービスのホームページアドレス <http://www.ncs-net.org/> 情報満載アクセスしてネ！■

■発行 株式会社西日本介護サービス ■福岡市中央区大名2-4-30 西鉄赤坂ビル6F ■TEL 092-712-0306



リハビリ風景

## ■ご入居者の声から

「ウィズ長丘」ではオープンから一年が経過、ご入居者の方々の生活スタイルが確立されていくのか、「もっと日課を充実して欲しい」と言う声があった。

オープン当初はご入居者の方々の個人のペースを大事にしたいというスタッフや職員の思いがあり時間の制約を少なくしていた。ご入居者の方から「今日すること」が決まっていることを望まれる方が多く、週に四日実施しているカラオケ、手芸、習字、音楽ク

生活倶楽部  
ウィズ長丘

# 「デイレク」スタート

生活倶楽部「ウィズ長丘」では毎週木曜日はデイレクの日。施設内で「デイレク」（デイサービス・デイケア的なものとレクレーションを組み合わせたもの）を考案。内部に施設があるから外部のデイサービスに行かなくて良い事そして楽しいとご入居者に大好評。

ラブの他に何かできるのではないかと、ビデオの内容について、毎月行われる茶話会でご入居者にリクエストを尋ねた。美空ひばりの映画、落語や漫才をかけてみたが長時間の鑑賞はご入居者に負担が多くなり、そこで皆さん歌が大好きなので歌のビデオをかけたところ熱心に鑑賞。

「次の木曜日は何？」と楽しんでいただけようになった。7月からはリハビリを取り入れ毎週木曜日は「デイレク」(デイサービスとデイケア的なレクレーションの日)として全職員が順番に担当を受け持ちながら午前中はリハビリ&体操を行い午後からは担当者によるレクレーションを行うことになった。

「今まで各階で行っていたレクレーションと違いご入居者の方にも新しい感覚で参加して頂け、職員も他階のご入居者の皆さんと親しくなる場にしていきたいと思えます。また、ご入居者の皆さんの毎日がメリハリのある楽しいものとなるよう色々な意見を取り入れながら行っていきます。」

## 「新市築池」環境づくりワークショップに参加して

生活倶楽部 ウィズ長丘 施設長 坂水依代子



新市築池

ウィズ長丘のすぐ近くに「新市築池」という池があります。季節ごとに桜、水仙、彼岸花が咲きご入居者の良い散歩コースになっています。今回区役所より環境整備ワークショップへの参加依頼が、「念願の散歩コースが出来る」ととても嬉しく思いました。ワークショップは4回の開催。1回目は池の周りを歩きながら問題を話し合い、どんな池にしたいかを話し合い、日頃ご入居者の方と感じていることを直接伝える事ができた。さらに参加している地域の方が「ウィズ長丘」のことをとても考えてくださっている事を知り、大変有り難く思いました。残り3回のワークショップも「ウィズ長丘」の代表としてみんなの意見を出して水辺に鳥が集まるようにご入居者の方々の地域交流の場所として素敵な公園に出来ればと思います。

介護付有料  
老人ホーム  
生活倶楽部  
ウイズ南片江

NEWS

## 韓国・釜山福祉施設視察団が訪問

平成16年6月1日火曜日午前10時から2時間程韓国の釜山区役所職員、福祉従事者の総勢22名が韓国の福祉発展に役立てたいという主旨で生活倶楽部「ウイズ南片江」を見学。

日本の先進の老人福祉施設を見学したいという韓国側の意向で「ウイズ南片江」が推薦されたもの。視察、研修の内容は次の通り①施設の規模や職員の人数、②入所対象者などの基本現状から運営方法③運営予算、入居者に対するプログラムなど。

また職員やスタッフに対する質疑応答では施設活性化の為の民間、地方自治体の役割や入居者の為のプログラム別効果や金銭的な事など具体的な運営内容について質問。またスタッフ同士による交流が深まり今後の友好関係を約束した。

見学者の声で「韓国の福祉は日本をはじめとして先進国より若干遅れている」「民間が福祉を運営してどうなのか」「日本国の方針はどうなのか」など韓国と日本の介護の考え方が若干異なり福祉介護に関する質問の声が数多くあった。

お隣の韓国でもいよいよ高齢化社会を反映して行政が本格的に高齢化社会に取り組み始めたと感じました。



スタッフによる案内



玄関前での記念撮影

介護付有料老人ホーム

## RKBテレビで「ウイズ南片江」が紹介される

平成16年5月26日水曜日に生活倶楽部「ウイズ南片江」がRKBテレビの番組「今日感テレビ」に介護特集として紹介された。

タイトルは「福岡の老人ホーム最新事情」として紹介されたもの。「ウイズ南片江」に女性リポーターが訪問、施設を隅々まで取材、収録。

パティオではレポーターが入居者の皆さんと昼食。献立は三色ご飯。施設の住み心地の良さや毎日の楽しい出来事など和気あいあいと楽しい会話が弾んでいた。



パティオでの撮影風景

福祉従事者・医療従事者  
広域親睦会開催



七月十五日木曜日ソラリアホテル（福岡市天神）にて第八回福祉従事者・医療従事者広域親睦会が開催された。

福岡市内から各種病院、介護保険施設、身障者施設、医療・介護サービスマスターなど六十事業所百三十名の参加。

西部地区と東部地区の合同開催は今回が初めて。

「日頃忙しく話せない現場の声を聞きそれをサービスマスターに役立てて欲しい」福岡西部地区青木信一氏（総合福祉サービス研究会）

「現場同士の交流、色々な仲間を作って欲しい。今後も現場の人間が出合う機会を作っていきたい」東部地区橋本修二氏（福岡輝栄会病院）



↑福岡東地区幹事 橋本氏（中央）  
福岡西地区幹事青木氏→



## グループホーム ウィズライフ 伊丹

### カラフルな1万本のバラ、ばら、薔薇

新緑の5月に入り、ご入居者の皆様やスタッフが心待ちにしていた「荒牧バラ公園」への遠足に5月24日快晴の中出かけました。

伊丹市の北部にある「荒牧バラ公園」では国内はもとより世界中から集められた数々のバラの花を春と秋に見る事ができる。赤、ピンク、黄色、白、といった色とりどりの鮮やかな200種、約1万本のバラを目の前に、ご入居者の皆さんも思わず顔がほころび喜んでおられた。当日はあまりの暑さに少々バテギミ。その都度ベンチで休憩、冷たいお茶やジュースをのみ水分補給お菓子を食べたりしながら会話も弾み楽しいひとときを過ごされリフレッシュ。

秋にも再度来園する予定。是非皆さんもご参加ください。

スタッフ一同



荒牧バラ公園

### バザー準備開始

グループホーム  
ウィズライフ伊丹

昨年九月に行われた「ウィズライフ住吉」主催のバザーが今年も行われる。昨年「ウィズライフ西新」との2施設合同で開催。今年は「ウィズライフ南片江」も参加。今年もご入居者と職員がバザーの打合せや手作り商品の仕込みの準備が始まった。これは地域交流を目的としたイベントで今回もボランティア、地域の方の参加を呼び掛けている。今年の目玉は毎回売り切れ続出の「手づくり梅干し」や「手作りクッキー」等手作り商品が自白押し、乞う御期待。

【日時】九月五日（日）

十一時から

【場所】住吉神社境内

お問合せはウィズライフ

住吉まで（バザー参加者

ボランティアも募集中）

電話 4 3 6 7 1 8 1 へ



昨年のバザー風景

ウィズグループに  
新しい施設が加わります。

## グループホーム 「ウィズライフ別府」 まもなく誕生！

平成16年11月に2ユニット18室の「ウィズライフ別府」（城南区別府）がオープン致します。

只今入居者を募集中  
お問合せは092-841-8406(但馬)



完成予想図

**単独外出に思うこと**

水年連れ添い信頼しあった奥様を亡くされ健康をそこなわれたご入居者がいらっしやいます。ひとりだまされて、外出を日に何回とされます。その度に「ご本人の表情が穏やかになられるまで一緒に同行し帰ってくる」といった支援をしていました。

そこでご家族のご理解を頂き「他のご入居者の支援が不十分になる時」そして「事故防止策として、落ちつきなく外に出かけられるような状況時」に玄関の鍵をかせせていただくようになりました。

でも、鍵をかけるということは拘束の何ものでもないのです。最初は心苦しい気持ちで鍵を…。しかし「とりあえず鍵をかけておこう」と言う気持ちの変化、心苦しい気持ちが薄れていく事実、恐ろしいと思いません。

全職員で鍵をかける事について再度話し合い。「本当のケアのありかたを常に意識し、ご入居者の気持ちを受けとめる介護」を目標に、

これからはもっとご入居者の心の奥深くに思いをよせ、何を考えているのか、どうして欲しいのかをいつも考え、それがきつとご入居者との心が通じ合うと信じながら介護を行っていきたいと思っています。

グループホームウィズライフ住吉  
上村恵子

## ターミナルケアを考える

グループホームウィズライフ西新 施設長 但馬ひとみ

今年の春、私達は初めてホームでの看取りを行いました。今回ご家族のご理解を頂きご紹介させて頂きます。

2年前に入居されたAさんは、入居前より患っていた病気が少しずつ進行してゆき、今年の4月には、主治医から余命1〜3ヶ月との宣告を受けました。「出来るだけ入院はしたくない」と本人とご家族の思いでホームでのターミナルケアへと踏み切りました。

と言っても実際にグループホームでのターミナルケアを経験したスタッフは誰もおらず、「私達に任せて下さい」と言えるだけの力は持ち合わせていませんでした。そういった中で、ホームで最後を迎えるということが目標ではなく「今の私たちの力で出来るところまでやってみよう」「経験させて頂こう」というところに目標を定め、ご家族には私たちにできる事、できない事を正直にお話し、ご理解頂くところからスタートしました。

4月中旬頃、ベットに横になる時間が増えましたが、居室ではなく、なるべくみんなの気配を感じて頂きたいと思い、日中はリビングにベットを置き、休んで頂きました。そして夜は、夜勤職員の他、もう1名の宿直体制で望みました。

また、「入院するよりこの方がいいよ。何かあればいつでも来るから」と、ホームでの看取りに対し後押しを下さった医師の存在は、本人よりもスタッフにとって、とても心強いものでした。亡くなる一週間前には、在宅酸素、点滴治療が始まり、先生の他に医療保険内で訪問看護も受け、支えて頂きました。

そして、5月2日の朝、スタッフの見守る中、お部屋のベットで眠るようにお亡くなりになり、他の入居者の皆様もお別れをしてくださいました。

ターミナルケアとしては約1ヶ月でしたが、献身的なご家族の介護や、地域の医療関係者の支援、他の入居者やご家族のご協力、そして何よりご本人の伏線が初心者私達でも介護しやすい状態であった事等、すべてがあって今回やり遂げる事が出来たのではないかと思います。

そして、これまでに幾人かの入居者のお別れに立会い、今思う事はターミナルケアとは亡くなる場所がどこかではなくたとえ病院で最後を迎えたとしても、おひとりお一人の人生に対して、どうかかわっていくかが、私たちの目指すターミナルケアではないかと感じています。

株式会社西日本介護サービスご利用者ご家族アンケート調査集計

# アンケート集計結果

DATA

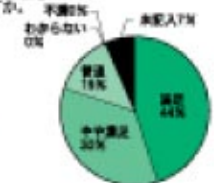
問1-1 個別ケアプランについて十分な説明がありましたか。



問1-2 個別ケアプランを作成する際にご本人やご家族の意見・要望などを十分に反映させてくれますか。



問2-1 施設内の温度や明るさは暑いですか。



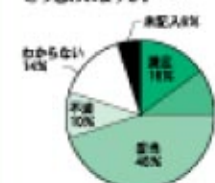
問2-2 施設内の雑音はできていますか。



問3-1 施設の構造や設備について安全性はいかがですか。



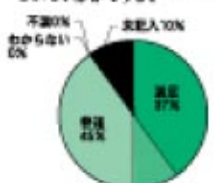
問3-2 月謝料金の金額についてどう思われますか。



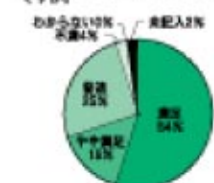
問3-3 毎月の請求方法がわかりやすいですか。



問3-4 預り金の管理方法についていかがですか。



問4-1 職員の手洗いはいかがですか。



問4-2 職員の服装・身だしなみはいかがですか。



問4-3 職員は優しく丁寧に接していますか。



問4-4 ご本人のプライバシーへの配慮はなされていますか。



問5-1 介護管理や介護態について満足していますか。



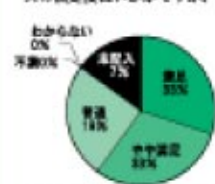
問5-2 施設での行事等の頻度はいかがですか。



問5-3 施設はご家族は気軽に訪れしやすい雰囲気ですか。



問6-1 施設の暮らしや介護サービスの満足度はいかがですか。



調査日：平成16年6月中旬  
調査方法：お客様への請求書にアンケート月紙を同封、記入後返却  
対象者：西日本介護サービスご利用者とそのご家族

初めてのアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。ご利用者様とご家族様の貴重なご意見が現場で生かせるよう社員一同さらなるサービス向上に努めさせていただきます。今後とも充実した介護に積極的に取り組んで参りますので今後ともご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

株式会社西日本介護サービス 代表取締役 藤原博章

プラス発想の介護スクール  
10月4日(月)開講  
6期生募集中

## ホームヘルパー2級講座

プラス 痴呆介護インターン研修

(株)西日本介護サービスが運営する「ウイズインターンスクール」が10月に「ホームヘルパー2級講座」6期生を募集します。講師は痴呆症の権威である大学教授や経験豊富な専門家。福祉サービスの基本視点や介護される側の心理学、介護技術などを、介護の現場を知り尽くしたプロならではのノウハウで講義・実習。ともに同スクールならではの即実践型充実内容1クラス20名の少人数、通学制なのでじっくり基礎から学べます。午後6時30分からの夜間コース。県の認可を受けているので確実にホームヘルパー2級を取得できるのがうれしい。お気軽にお問合せ、資料請求下さい。

**講座日程**  
■夜間コース  
●平成16年10月4日(月)～約1ヶ月半十実習4.8日  
■会場 ウイズインターンスクール  
福岡市中央区大名2丁目12-5 旧中ビロ2階  
[地下鉄大濠駅西出口]  
■講座名 ホームヘルパー2級養成講座  
■料金 90,000円(税込)  
テキスト代・実習費含む  
■定員 20名  
■オプション 痴呆介護インターン研修あり



ウイズインターンスクール  
0120-388-605

生活倶楽部「ウイズ長丘」が厚生労働省が推進する「介護サービスの情報開示の標準化」の都道府県モデル事業の一事業として参加させていたたく事になりました。「情報開示の標準化」は、介護保険制度の基本理念である「利用者本位」「高齢者自立支援」「利用者による選択(自己決定)」を現実のサービス利用において保障するための新しい仕組み。

対象となる介護サービスは、訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、通所介護・介護老人福祉施設、特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム)、介護老人保健施設の七サービス。

各事業所に基本情報項目、調査情報項目を開示、利用者本位の視点に立って、各サービスごとに作成され、今後介護サービス全体の質の向上が期待される。

生活倶楽部  
ウイズ長丘が

モデル事業に参加